

デカボえひめプロジェクトの概要 (R6 年度～)

■デカボえひめプロジェクト

民間企業のアンケートによると、生活者の約7割が「脱炭素は自分たちも取り組むべき」と認識しているものの、約3割しか行動に移せていない。

県では、脱炭素化に向けた県民総ぐるみのアクションを引き出すため、「楽しさ・貢献実感」をトリガーとし、県民の意識や行動を大きく変容させるデカボえひめプロジェクトを実施。

具体的な手法として、

①個人の年間CO₂排出量が見える化（意識変容）

➡デカボmyスコア

②具体的脱炭素アクションへのインセンティブ付与（行動変容）

➡SNS等を活用して脱炭素アクションを啓発するキャンペーンを実施。

本プロジェクトの認知度向上、また、脱炭素アクション促進のため、イベントや教育機関との連携。また、令和6年度には、省エネ性能の高い家電購入支援を実施。

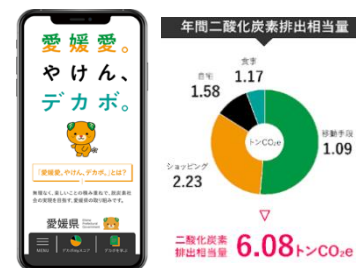
■デカボmyスコア

個人の年間CO₂排出量の見える化ツールの導入

✓ 個人の年間CO₂排出量を推計する国連公認のツール

✓ 12の質問に回答することで簡易に測定

デカボmyスコアの測定等が行える簡易なwebページを立ち上げており、10,569名（3月末時点）が参加している。



■じゃんじゃん、デカボじゃん！キャンペーン

※「じゃんじゃん」＝「どんどん」と「もうやってるじゃん」（完了形）

- ① 県民が自身の脱炭素アクションを写真に撮り、SNS上でハッシュタグ付きで投稿するだけで参加可能なデジタルキャンペーンを開催（8月、11月、2月の年3回（各1カ月））。
- ② 投稿参加者には抽選で県産品や省エネ家電等の景品をプレゼント。
- ③ キャンペーンへの参加促進のため、気軽に真似したくなる脱炭素アクションの啓発ショート動画を9種類制作し、キャンペーン情報と組み合わせて、SNS（X、Facebook、Instagram）を活用し情報発信。

■教育×デカボ

小中学校・高校を対象とした脱炭素出前授業を実施することで、次世代を担う子どもたちが地球温暖化に関する知識や、自分たちで出来る脱炭素アクションを学ぶ機会を提供。

- ① 愛媛新聞社と連携した脱炭素に関する「新聞づくり」講座（出張授業）
- ② 愛媛プロレスと連携した楽しみながら学ぶ脱炭素講座（出張授業）
- ③ 県地球温暖化防止活動推進センターによる脱炭素講座（ワークショップ等）

計15校以上で実施予定。

■既存イベント×デカボ (R7 年度は 10 以上のイベントで実施予定)

集客力の高いプロスポーツのホームゲームや地域イベント等において、ブース出展や会場アナウンスを通じて、デカボmyスコアの測定を促し、マイバッグやマイボトルの持参等の脱炭素アクションを実施している参加者には特典を付与して、県民の脱炭素意識の変容を図る。

●プロスポーツのホームゲーム



愛媛 FC 試合会場



FC 今治試合会場

●地域イベント



えひめ・まつやま産業まつり

■第2回えひめ愛顔のデカボ商店街（新規イベント×デカボ）

令和 8 年 1 月、環境問題と科学実験をテーマにしたエンターテインメントショーやシンポジウム、環境配慮商品の販売会、脱炭素アクションの体験コーナー、リサイクルフリーマーケット、河原学園生徒のデカボアートのお披露目会等を実施する「第2回えひめ愛顔のデカボ商店街」を大街道で開催予定。

※第1回は、令和7年2月に大街道にて実施。

